

コロナ禍、急激な物価高騰による実質賃金低下のもと、私たちは格差と貧困、困窮と苦難が広がっています。またロシアによるウクライナ侵略や北朝鮮・中国の「脅威」により軍事費増大、庶民増税と年金・社会保障切り捨てがすすめられています。第94回メーデーは、財界や政府にたいして批判の声をあげ、賃金が上げられる社会の実現、平和とくらしを脅かす政治の転換を求めるメーデーとします。私たちは「分断」を乗り越えて「連帯」の力で社会を変えましょう。

みなさん、是非ご参加ください。！！



～スローガン 案～

- 大軍拡・大增税反対。自衛隊敷戸弾薬庫への長距離射程ミサイル保管反対。
- 物価上昇を上回る大幅賃上げ実現。
- 全国一律最低賃金・時間額 1500 円の実現。同一労働同一賃金実現。
- 物価に見合った年金引上げ実現。
- インボイス導入反対。
- ジェンダー平等社会の実現。 など

ちょっとまって！
大分県の
最低生計費は
時間額 1743円
なのに～！



メーデー の 起源

メーデーは8時間労働制を求めたシカゴ労働者の闘いと、世界の労働者の連帯の中から生まれました。1886年5月1日、シカゴ労働者が8時間労働制を求めてゼネストを行います。ところが1万5千人もの労働者が参加したヘイマーケット広場の抗議集会で、何者かが爆弾を投げ込み7名の警官と4名の労働者が死亡しました。官憲は犯人として労組幹部を逮捕し、4名が絞首刑となりましたが、後日真犯人は官憲に守られて潜伏していたことが明らかになりました。

この事件によって8時間労働制の闘いは一旦敗北しますが、アメリカの労働運動は1890年に再度ゼネストを準備、そこで「第2インターナショナル」が世界中の都市で8時間労働制のための大デモ行進を行うことをきめ、この年に第1回メーデーが行われました。以後、メーデーは8時間労働制とその時の政治的社会的争点を実現するための世界の大運動として、歴史に定着しています。